

発行元
 〒020-0541 雫石町千刈田82-2
 雫石町総合福祉センター内
 雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター
 電話/692-2230 FAX/691-1140
 e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp
<http://www.shisha.or.jp/>
 社協のBlogもチェックしてネ!

ぼらっと

『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽に
 「ボランティア」しましょう!!という造語です。



皆様のまごころ配達します。



まごころ配達運動が実施されました。

だんだんと寒さが増し暖かさが恋しい季節になってきました。寒い冬を少しでも暖かく過ごしていただきたいの思いから、町内の八十五歳以上の一人暮らし高齢者世帯へ「手編みの「まごころ配達運動」が行われました。



このまごころは、町内のボランティアグループ「あのはなさん」の皆様が、寄附していただいた毛糸を丁寧に編みなおしてくださったものです。



寄附いただいた毛糸が...

素敵なはっぴになりました。



今年の配達初日は十一月七日(木)で、町内の学童クラブの児童が書いた心のこもった手紙とともに届けられました。児童の手紙には、「これからますます寒くなってきますね。あたたかくしてかぜをひかないようにしてください。」「長生きしてください。楽しくくらすってください。」「など心温まるメッセージが書かれています。



今年の最高齢は九十歳でした。対象のお宅に児童とあのはなさんの方と配達に伺うと、それだけで、もう笑顔に。児童が大きな声で手紙を読むと目を細めて聞いていらっしやいました。



あのはなさんの方が「着てみてください。どうですか?」と声掛けをすると、うれしそうに袋をあけ、「色もきれいで、凝った作りで素敵だ。」という声が聞かれました。対象となっている方の中には、「ご自分も趣味で編み物をする方もおられ、あのはなさんの皆様にしきりに感心していらっしやいました。



対象となった方は、児童を見て「かわいいね。とてもいいものをいただきました。暖かく過ごせます。」という言葉や涙を浮かべながら「毎年、素敵な贈り物ありがとうございます。」「長生きをします。」などとおしゃっていました。また、児童の「〇〇さんの好きな食べ物は何ですか?」といった質問にも「うん、何でも食べますよ。」と笑顔で答えていらっしやいました。ほほえましい交流となりました。

来年度も、「まごころ配達運動」を行う予定です。ので、自宅に眠っている毛糸がありましたら、是非、社会福祉協議会までお寄せください。

栗石町スノーバスターズ隊員募集

今年も、スノーバスターズの季節がやってきました。スノーバスターズとは、中学生や高校生、ボランティアの方々の協力を得て、一人暮らし老人世帯や夫婦老人世帯、虚弱老人世帯を対象に雪の多く降る一月から二月にかけて、玄関前の除雪や声掛け運動を行なうものです。お年寄りにとって、冬の除雪は大変な作業です。そんな時、気軽に手伝っていただけるとありがたいものです。皆さんの時間と力を地域のために活かしてみませんか？

たくさんさんの参加をお待ちしております。

☆活動日

- ・ 除雪依頼のあった日
- ・ 一月・二月の毎週土曜日
- ・ 十三時～十五時



(十二時五十分福祉センター集合)

☆隊員資格

- ・ 体力に自信のある方
- ・ ボランティアに興味のある方
- ・ ☆問い合わせ・申し込み先

栗石町ボランティア活動センター

電話 (692) 2230

澤口・武田・三城



身体の不自由な方へ「通リやんせ基金」と福祉機器を贈ろう！

ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

IBCラジオ・チャリティ・ミュージックソンは、昭和五十三年にスタート。毎年クリスマスに行う二十四時間生放送をメイン番組に「通リやんせ基金」への募金を呼びかけ、身体の不自由な方々へ、総額4億6737万円あまりの物品、福祉機器が贈呈されています。今年も「被災地へ音の出る信号機と福祉機器を贈ろう」と呼びかけ、皆様のご支援とご協力をいただきながら、福祉向上のために取り組みます。

2013 RADIO CHARITY MUSICTHON

b 昨年の様子

当日には、募金のご協力をよろしく願います。
栗石店様入口

期日 十二月二十四日(火)
時間 十二時～十六時
場所 Big House



ボランティアの達人 その24

久々のボランティアの達人。今回は、童謡の滴の藤原恒子さんです。(以下、質問・Q、回答・A)

Q ボランティアを始めたきっかけはなんですか？

A 坂本虎雄さんに誘われてボラ連に入りました。退職したならボランティアをしようと思ったので、主人の分も二倍しようと考えています。

Q ボランティアをする上で気を付けていることはなんですか？

A 生活のちよっとした時間を使って、気張らないで出来る時にすることが大切。一人の百歩より、百人の一步が大切ではないでしょうか。誰かの役に立つということは、心が豊かになります。

Q 長年、ボランティアに携わっているからこそ分かる醍醐味は？

A 「人のお世話をするときに、報いを求めぬように」という学生時代からの掟があった、報いを求めることはボランティアではないと考えています。自分の出来ることで周囲も豊かになることが醍醐味ではないでしょうか。



Q 最後に一言お願いします。

A ボランティアには、様々な方法があります。それを「掘り起こしてほしい」です。例えば、労働でのボランティア、物でのボランティア、寄附でのボランティアなど様々です。色々なボランティアの方法を知って、もらって、皆で活動したいものです。優しいという気持ちが大切ですね。

第三回 麺スタクラブ開催

十一月十六日(土)、第三回麺スタクラブが開催されました。第三回は、御所地区の味に挑戦ということで、講師に戸沢いきいきサロンの高橋洋子さんと高橋サキさんをお迎えして、二八蕎麦に挑戦しました。さすが、第三回目もなるに参加者の皆さまも手



慣れたもので、あっという間に完成し、急遽、長芋だけをつなぎに使ったとろろ蕎麦を作り、おいしくいただきました。参加者の方の中には、蕎麦を栽培していらつしやる方もおり、談話の中で蕎麦栽培の難しさや大変さも聞くことができました。回を重ねるごとに和やかな雰囲気が進みま



編集後記

山に雪が積もり、あっという間に冬が町までやってきました。もうすぐ、町も雪で白くなります。車の運転等気を付けたいものです。(武田)

